都道府県医師会 会長 殿

公益社団法人 日本医師会
会長 松本吉郎
(公印省略)

診療所を対象とした新興感染症対策リーダー研修の開催について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて本会では、診療所の新興感染症への対応力を一層高める取り組みの一環として、医師会ブロック、都道府県医師会や郡市区医師会のためのモデル研修会を令和6年3月24日に開催致しました。

今年度は、各地域で研修を企画する指導者を育成する目的とし、「診療所を対象とした新興感染症対策リーダー研修」（以下、本研修）と名称を変更し、令和7年10月13日（月・祝）に開催することといたしました。つきましては、貴会よりご出席を賜りたく、お願い申し上げます。

本研修は事前eラーニング（講義）と日本医師会館での集合研修（実技・机上演習）を予定しておりますが、基本的な手技・手順を学習するだけでなく、実際に都道府県医師会等で研修を実施・指導する際のポイントをお示しする内容を予定しております。

ご参加いただく先生方は、各都道府県医師会3名の参加を上限とさせていただき（講師等を除く）、次の新興感染症発生・まん延に備え、現在および将来において貴会や各地域で感染症対策を担い、研修を企画・実施する方々を想定しております。また、本会の規程に基づき、受講者の旅費（日当を除く）を本会にて負担いたします。

なお開催の都合上、交通アクセス等を考慮した上で、47都道府県医師会を前半と後半の2つのグループに分けることにしています。

別紙にて、本研修のプログラムや実施方法等について、詳細をご案内いたしますとともに、出席に際しましては、下記リンクにアクセスいただき、都道府県医師会でお取りまとめの上、

8月24日（日）までに申込フォームにご入力ください。

また、本研修を修了した全ての方に修了証を交付し、医師の方には日本医師会生涯教育制度の単位・カリキュラムコードが取得できるようになっております。

申込フォーム

ご出席者については、以下をお伺いいたしますので事前にご確認のほどお願いいたします。
受講者氏名・肩書・メールアドレス、都道府県医師会担当事務局・事務局（入力者）メールアドレス

<https://jma-appres.jp/apply/shinkanken2025>

診療所を対象とした新興感染症対策リーダー研修

開催概要・プログラム

開催日：令和7年10月13日（月・祝）

申込締切日：令和7年8月24日（日）

申込フォーム：<https://jma-appres.jp/apply/shinkanken2025>

場 所：日本医師会館（東京都文京区本駒込 2-28-16）

受講対象者：各都道府県3名を上限とし、以下に該当するものが望ましい

- 都道府県医師会を代表する立場で、新興感染症対策等の研修企画に参画する者
- 管下の市区町村において、新興感染症流行初期後に、地域医師会の会館や休日夜間診療所等での臨時発熱外来や、診療所での発熱外来を行う際の立ち上げに寄与するもので、各都道府県医師会が推薦する者
- 将来において、都道府県及び管下地域で新興感染症対策の研修を企画・実行・指導し、次の新興感染症発生、まん延時に中心となり、各都道府県医師会が推薦する者※

※例えば看護師など、医師以外の者の参加も可能

日本医師会生涯教育制度：2.5単位（CC：8 感染対策）

研修スケジュール：

【事前学習】JMAT-e (e-learning) による事前学習あり

【当日実習】原則、47都道府県医師会を①と②の2つのグループに分け、時間差で実施グループ①

受付開始：09:30（1階にて受付後、3階小講堂にて開会までお待ちください（席指定あり））

10:00～10:10（開会・趣旨説明）

10:10～11:10（実技実習）

11:20～12:50（机上演習）

12:50～13:00（総評、閉会）※閉会后、5階にてお弁当をお召し上がりいただけます

グループ②

受付開始：11:30（1階にて受付後、3階小講堂にて開会までお待ちください（席指定あり））

※開会前、小講堂にてお弁当をお召し上がりいただけます

12:30～12:40（開会挨拶・趣旨説明）

12:40～13:40（実技実習）

13:50～15:20（机上演習）

15:20～15:30（総評、閉会挨拶、解散）

グループ①（仮）

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県（24道県）

グループ②（仮）

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県（23都府県）

※【事後学習(JMAT-e)】事後学習完了後、修了証を都道府県医師会宛にお送りする予定。

◆研修目的

各都道府県において、新興感染症対策研修を企画・実施するリーダーの育成。

本研修では、基本的な感染対策の実際を研修するのではなく、どのような点に注意したら効果的な研修ができるのか、注意点、工夫点などに関してそれぞれの地域の経験やお考えを共有いただく。

参加者は、本研修で得た内容を参考に実際に各地域で研修会を企画・実施し、新興感染症発生時に、全国で発熱外来等に対応可能な診療所を増やすことが重要。

◆実施主体

- 日本医師会 常任理事 笹本 洋一
(日本医師会 診療所における新興感染症対策研修検討委員会 (プロジェクト))
(委員長 舘田一博(東邦大学 微生物・感染症学講座 感染病態・治療学分野教授))

◆講師・オブザーバー

- 日本医師会役員
- 日本医師会診療所における新興感染症対策研修検討委員会(プロジェクト): 委員または委員の推薦者
- 感染症の専門家: DICT 関係者 (日本環境感染学会)
- 行政関係者 (厚生労働省)

◆プログラム概要(仮)

- 実習は、日本医師会生涯教育制度に合わせて原則 30 分単位とする。

	科目	概要	時間
講義	事前 e ラーニング※	・ 研修趣旨説明 ・ 実技実習のポイント ・ ゾーニングのポイント	
実習	手指衛生 (講義振り返り+実技)	・ 実技を交えながら、指導ポイントの学習※ ※例えば、基本的な手技・手順を学習するだけでなく、受講者が研修を指導する際に重要なポイントを紹介	30 分
	PPE 着脱 (講義振り返り+実技)		15 分
	検体採取 (講義振り返り+実技)		15 分
			計 60 分
実習	ゾーニング (講義+机上演習)	・ 講義 基本的な考え方 (エリア分け、導線 など) リスクを減らす考え方 ・ 机上演習 図面を用いたディスカッション ・ 講義 回答例説明、質疑応答	15 分 60 分 15 分
			計 90 分
確認	事後 e ラーニング		

※開催日 1 か月前を目途に、申込フォーム登録の受講者及び事務局メールアドレス宛に、受講案内をお送りする予定。

(参考)

2024年・2025年度
診療所における新興感染症対策研修検討委員会（プロジェクト）
委員名簿

（◎：委員長）

おのざき けいすけ
小野崎 圭助（秋田県医師会常任理事）

くわがた やすゆき
鋤方 安行（大阪府医師会理事）

さそう まさと
笹生 正人（神奈川県医師会理事）

たかはし さとし
高橋 聡（北海道医師会常任理事）

たかやま よしひろ
高山 義浩（沖縄県医師会参与）

とりい あきら
鳥居 明（東京都医師会理事）

ひらばやし ひろひさ
平林 弘久（兵庫県医師会常任理事）

まさおか よしゆき
正岡 良之（広島県医師会常任理事）

やすかわ しげひろ
安川 繁博（福井県医師会副会長）

◎ たてだ かずひろ
館田 一博（東邦大学微生物・感染症学講座 感染病態・治療学分野教授）

いずみかわ こういち
泉川 公一（日本環境感染学会災害時感染制御検討委員会 委員長）

（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野 教授）

（長崎大学病院 感染制御教育センター センター長）

すがわら えりさ（日本環境感染学会 新興・再興感染症対策委員会/

災害時感染制御検討委員会 副委員長）

（東京医療保健大学 名誉教授）

（一般社団法人感染防止教育センター(CEIP)副代表理事）

<日医役員>

かまやち さとし
釜范 敏 副会長(担当副会長)、 ささもと よういち
笹本 洋一 常任理事(主担当)

事務局：地域医療課（連絡先：03-3942-6137）、健康医療第二課